

頼山陽と親交



1801-1863



文殊の代官所で生まれた。名は輓、字は信吾とし、百峯、巖齋と号した。京都に出て頼山陽の門に入り、儒学者、歴史家、詩人としての基礎を学んだ。後に銅駝坊に塾を開き多くの子弟を集めた。頼山陽が「日本外史」を著すにあたり、頼山陽の水西荘を訪ね「日本外史」をその刊行を助けた。学習所(後の学習院)の教官を命ぜられ、儒官の首席となっている。文久3年に63歳でこの世を去り、師頼山陽のすぐそばの墓地に眠っている。